



子どもの学力を伸ばす



「図書教材」って何??

○「図書教材」とは

国語や算数・数学などの各教科の授業では教科書の外に国語ワークや計算ドリルなどを使用していますが、これらの教材は子どもの学習活動をより充実させるためのもので、通常「図書教材」と言っています。なお、授業で「図書教材」の使用については学校教育法で認められています。現在、学校では「図書教材」としては、テスト、ドリル、ワーク、資料集などを活用しています。

○「教科書」と「図書教材」

各教科の授業で使用している「教科書」は文部科学大臣の検定を経た「教科用図書」として法令に従って教科書会社が作成し、全国の義務教育を受けている子どもの手元に無償で届けられています。

「図書教材」は、子ども一人一人の学習状況に応じた学習活動のために、「教科書」を補う教材として教材出版社が作成したものです。

各学校では使用する「図書教材」については校内で検討して採択し、教育委員会には使用についての届けを出しています。なお、「図書教材」は有償ですので保護者の皆さま方には応分の負担をお願いしています。

○「図書教材」と「市販教材（学習参考書）」

「図書教材」は子どもの学習活動を支援したり学習習慣を身に付けられるよう工夫し、授業では学習状況に応じた教材として使用できるよう作成したもので各学校の求めに応じて学校に直接お届けしています。

いっぽう「市販教材（学習参考書）」は全国どこでも通用する標準的な内容で構成され、一般の書籍と同様に各書店で販売しています。

図書教材の種類と役割

図書教材は、基礎学力の定着はもとより、授業や自習、家庭学習などさまざまな場面で学習効果が上がるように、その種類によって役割と機能をもたせて作られています。

主な役割・機能を大別すると次のように教材分類できます。

ワーク
ノート
資料集
作業帳 など

学習の初期導入や学習の過程で、子どもに興味・関心を起こさせたり、学習内容をより深化させるための教材。例えば、身近な話題や自分で考えるヒントを配し、学習内容が自分にとって意味あるものだと感じられるようにしたり、自ら学ぶ姿勢を培います。

漢字ドリル
計算ドリル
ペンマン
書き方 など

繰り返し学習したり、同内容・同レベルの問題を数多くこなすことで学習内容の定着を図る教材。確かな学力の定着には欠かせません。

評価テスト
形成プリント
など

学習内容の定着状況を確認し、子どもの学習のつまずきを発見して診断・治療する教材。どこまで理解できたのか、どこでつまずいているのかを観点別に評価することで問題の解決を適切に行うことができます。また、それにより先生の指導法の研究にも役立ちます。